

# 笑顔いっぱい「楽しい」

## 震災で避難の子ども

### 日進の小学生と交流

東日本大震災で県内に避難する子どもと日進市の小学生の交流キャンプが6日、同市総合運動公園で始まった。7日まで。

震災の被災者支援に取り組む愛知淑徳大学の学生ボランティア「ういらく」が毎年開いており3回目。子どもたちは避難者13人、地元21人が参加。すぐに打ち解け、飯ごう炊きで夕食のカレーづくりを挑戦するなどした。

今回は、レクリエーションに災害時などに気をつける内容を盛り込んだ大判カルタや、バケツリレーを取り入れた。6班に分かれて対抗戦形式で行った。カルタでは、「持ち物しっかり準備しようの『も』」などと読み上げると、子どもたちは歓声を上げて取り合

## 総合運動公園でキャンプ 大型カルタやバケツリレー



った。宮城県から岡崎市に避難し、妹を連れ

て3年連続で参加する中3男子(15)は「みんないっぱいいるし、無条件で楽しい」と笑顔を見せた。

【清藤天】

大判の防災カルタで遊ぶ子どもたち。日進市岩藤町の市総合運動公園で

2015年8月7日(金) 毎日新聞 朝刊24面より  
この記事・写真は毎日新聞社の承諾を得て転載しています。